HANACO
はなこ
HANA COMMUNICATION PAPER
http://www.fukuhana.jp/

2015
3・27
No.27

［特集］
今年で5回目の花き業界
一大キャンペーン

男性から女性に花を贈る2月14日
LOVE~フラワーバレンタイン~

● PICK UP FLOWER SHOP あなたの街の花屋さん
◎ フラワーバレンタイン
● リリーアベニュー
◎ 生産流通部からのお知らせ
◎ 部会活動報告　一般草花部会　台湾視察

日ごとに太陽の光が色みを増す、春です。
大地を照らす色を吸収したかのように
みごとな黄色で一面を彩る菜の花は
春を代表する季語であり
多くの俳人が好んで句をつくっています。
菜畠に花見顔なる雀哉――芭蕉
（一面の菜の花畑にスズメが群がっている。かれらも花見をしているのであろう）
ビタミンカラーともいえる鮮やかな色と、
群生する性質から、菜の花が描く風景は
見る者の心をなごませ、元気を与えてくれます。
また、摘み取って室内に飾れば
そこだけ「ぽっ」と明かりがともったような
あたたかな空気を運んでくれます。

PICK UP FLOWER SHOP　vol.27

西鉄平尾駅から徒歩10分の当店は、平成24年7月に開業しました。フランス語で「木の幹」を意味する店名「TRONC」は、時間をかけて大きく成長し、たくさんの人に愛される花屋になりたいという思いを込めています。当店では切り花のギフトと同様に観葉植物の需要が高いため、500円で買える小さなものから3mを超える大きなものまでさまざまな種類の植物を置いています。

当店は個人経営の小さな店ですが、生産者や花市場の方々の努力のおかげで成り立っていると感じています。たとえば今までは1ロット100本でしか仕入れができなかった花が、最近は20本、30本と小分けにして卸してもらえることが増えました。ささいなことかもしれませんが、小さな店にとってはありがたいことです。花が売れない時代だといわれていますが、ていねいな接客を心がけ、お客さんに切り花の美しさを知ってもらう。そうすることでまた次の消費につなげていけたらと思います。

さまざまなバリエーションのアレンジを手がける

入口には緑があふれる

フラワーキーパーには色とりどりの花が並ぶ

FLOWER SHOP
TRONC
（セリ番号377）
DATA
所在地:福岡市南区那の川2-4-32
TEL:092-791-5571
FAX:092-791-5571
営業時間:11:00~20:00
休み:日曜、祝日

生産流通部からのお知らせ

ゴアテックスに　待望のＮｅｗモデルが登場！！

サンステラⅡ
ゴアテックス® ワークスーツ

◎適応サイズ

サイズ	S	M	L	LL	3L
身長	140~150	150~160	160~170	170~180	180~190
胸囲	74~84	80~90	86~96	92~102	100~110
胴囲	66~76	70~80	76~86	82~92	90~100

（単位：cm）

機能も向上！スタイリッシュに進化！

サンステラⅡは高い**防水耐久性、防風性、透湿性**を備え快適な作業を実現します。
従来のワークスーツより、さらに改良を加えた高性能農作業着です。
農薬散布の際も、直接さらされる危険性からも守ります。

メーカー希望小売価格（税込）**￥３３，４８０**

価格もスタイリッシュ

販売価格（税込）**￥２７，０６５**

送　料　無　料

●お求め・お問い合わせ　福岡県花卉農業協同組合　生産流通部　営農支援課（購買）
電話：(092) 621−6411　FAX：(092) 612−0316

一般草花部会、台湾へ

1月21日（水）から23日（金）にかけて、一般草花部会は台湾にてトルコギキョウの産地視察を実施しました。参加者は7名で、農協関係者3名が同行しました。今回訪れた嘉義市は、台湾の中南部に位置します。熱帯モンスーン気候に属する嘉義市は、温暖な気候と豊富な降水量に恵まれ、農業が盛んです。視察当日も気温は20℃前後で、非常に過ごしやすく感じました。

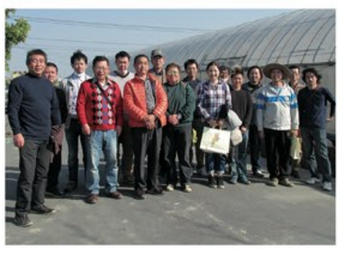
現地では、台湾に特化した花きの輸入販売事業を行っている㈱翠光トップラインの上條秀美氏と郡司かおり氏に産地を案内していただきました。

圃場に到着してまず驚いたのは、ビニールハウスの天井が非常に高かったことでした。天井が高いため風通しが大変よく、作付してあるトルコギキョウの出来もとても良かったです。そして、視察参加者の注目を集めたのがビニールハウスで使われている網ネットとマルチング材でした。網ネットは両端がダブルになっているため、フラワーロープや針金を通す必要がありません。また、フェルト調のマルチング材は2、3年使用できるとのことで、日本でよく使われているビニール製のものの1年に比べて、耐用年数が長くなっていました。この2点が話題となり、非常に話が盛り上がりました。

また、選花場も視察しました。

この選花場では、数年前まで壁もないような場所で選花にあたっていたそうですが、台湾の農協が施設を建て、現在はそこでパートの方が厳しく選花を行っています。収穫されたトルコギキョウは60本ずつ段ボールに詰められ、4箱を1バンドルとして出荷していました。輸出にかかる運賃は1バンドル8000円ほどだそうなので、花1本当たりに直すと、運賃は約34円となります。日本へは関西市場を中心に出荷しているそうですが、現在は円安が進んできているため厳しい状況にあるとのことでした。

今回視察研修に参加された生産者の方も、多くのものを得ていただけたのではないかと思います。今後も海外視察研修など計画し、ご参加の呼びかけを行ってまいりますので、ぜひご参加くださいますようよろしくお願いいたします。



［はなこ］3月号 2015年3月27日発行
通巻115号
●発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL：092-621-6767
FAX：092-611-0139
Email:info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
http://www.fukuhana.jp
●企画・印刷（株）プリテックフクオカ
編集・（株）クロス編集事務所
デザイン・シゲ デザイン
HANACO はなこ

今年で5回目。男性から女性に花を贈る「フラワーバレンタイン」の取組みレポート

「フラワーバレンタイン」キックオフ!!（福岡花市場・北九州花市場）

福岡花市場・北九州花市場では、1月12日（月）のセリが始まる前に、福岡花商協同組合・北九州生花商協同組合の理事のみなさまとともに、買参人のみなさまへフラワーバレンタインへの参加の呼びかけをしました。今年製作したフラワーバレンタインポスターの掲示、毎年活用しているのぼり旗や車に貼るマグネット式ステッカーの着用、フラワーバレンタインオリジナル商品コーナーの設置などをお願いしました。特設展示場では、フラワーバレンタインに合わせた切花・鉢物商品を展示し、セリ人や職員はフラワーバレンタイン特製ピンクのオリジナルウィンドブレーカーを着用。市場内から機運を盛り上げていきました。

また、仲卸各店舗にも「フラワーバレンタイン」のポスターやのぼり旗を設置していただき、買出人の方にも呼びかけをしました。

福岡花市場でフラワーバレンタイン参加の呼びかけ

フラワーバレンタイン。各地でＰＲ活動を実施

●福岡県花き品評会【２０１４年11月29日（土）・30日（日）】

昨年、イオンモール福岡で実施した「福岡県花き品評会」では、ひとあし早く「フラワーバレンタインコーナー」を設置しました。福岡花商協同組合のみなさまの協力のもと、80本の赤いバラの花束を持っての記念撮影会や、大切な人への花に添える一行メッセージを募集するなど、フラワーバレンタインのＰＲを行いました。

●3大消費地へ各企業のコラボレーションによるＰＲ活動を実施

福岡都市圏、北九州都市圏、久留米都市圏でフラワーバレンタインのＰＲ活動を行いました。福岡都市圏では、恋人の聖地としてキャンペーン展開している「福岡タワー」（2月12日～14日）、20～30代のカップルが集う福岡市天神の商業施設「ミーナ天神」（2月1日～14日）、市川染五郎主演二月花形歌舞伎が行われ、50～60代の方も来場する「博多座」（2月12日～14日）のほか、観光客や市民にもっと福岡の魅力を感じてほしいと、今年から福岡市が主催する滞在型キャンペーン企画「福岡夜博」のオープニングイベントである「リリーフランキートークショー&福岡グルメ」（2月1日）などでＰＲしました。

具体的には、各商業施設やイベントとコラボレーションしたフラワーオブジェの展示、一行メッセージの募集のほか、2月14日に来場したカップルにはＪＡ糸島、ＪＡ福岡市から提供された花材を、フラワーバレンタインの特製スリーブに入った一輪束にしてプレゼントする企画などを実施。多くのカップルやご夫婦は、突然のプレゼントに驚きながらも笑顔で受け取っていました。

また、福岡タワーでは夜のバレンタインイルミネーションに、フラワーバレンタインの今年のキャッチコピーである「LOVE」の文字が描かれました。

北九州都市圏では、商業施設「リバーウォーク北九州」（1月31日～2月1日）とコラボレーション。今年で3回目となるこのＰＲ活動は、福岡県花き園芸連合会や北九州生花商協同組合青年部のみなさまの協力のもと、記念撮影ができるフラワーオブジェの設置や一行メッセージの募集、フラワーアレンジメント教室を実施しました。このＰＲイベントを紹介しようと西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社が取材に訪れ、フラワーバレンタインを紹介していただきました。

福岡タワーイルミネーションでは今年のテーマ「LOVE」の文字の点灯

リバーウォーク北九州でのPR

久留米都市圏では、「西鉄久留米駅」（2月7日～8日）とコラボレーションを行い、福岡県花き園芸連合会、久留米花き園芸農業協同組合のご協力のもとでフラワーオブジェの設置などでフラワーバレンタインをＰＲしました。

西鉄久留米駅でのPR

●フラワーバレンタインをテーマに「ふくおか花浪漫」を開催

毎年、秋に開催していた「ふくおか花浪漫」。今年は2月7日（土）～8日（日）に福岡市天神の天神地下街イベントコーナーで開催され、歩みを止めて参加する多くの方々がいらっしゃいました。

1日目の2月7日は、オランダのマスターフローリスト「レン　オークメイド」氏によるユリを使ったフラワーバレンタインのデモンストレーションや、福岡県フラワーデザイン品評会のファイナル競技が行われました。2日目の2月8日は、ワークショップのミニブーケ作りやユリを使った作品の展示、イケメン花屋コンテスト、バレンタインギフトの人気投票、二行メッセージの募集などが行われました。

イケメン花屋コンテスト

●福岡県花き園芸連合会が海老井福岡県副知事に表敬訪問

2月14日のバレンタインデーを前に、福岡県花き園芸連合会では男性から女性に花を贈るフラワーバレンタインをＰＲしようと、福岡県庁を訪れて海老井福岡県副知事に花束などを贈呈しました。当日は、ＦＢＳ福岡放送、ＲＫＢ毎日放送、読売新聞社などの報道機関も取材していました。

海老井福岡県副知事へ表敬訪問

●福岡県庁内でフラワーバレンタインＰＲ

花あふれるふくおか推進協議会では、福岡県内の花商のみなさまが製作した15種類のブーケやアレンジメントを、福岡県庁1階ロビーに展示しました。これらの花を見てもらうことで、県庁を訪れた方々や県庁職員のみなさまにフラワーバレンタインをＰＲしました。

福岡県庁ロビーでの展示

●熊本宣伝部長「くまモン」もフラワーバレンタインに参加

2月12日（木）に、ＪＡ菊池花卉部会、福岡花市場、ダイエー笹丘店とのコラボレーション企画を行いました。ダイエー笹丘店の地下1階催事コーナーにて、熊本県で生産されたカスミ草やガーベラ、トルコギキョウなどを、フラワーバレンタインの時期にあわせてもっと消費者の方に知っていただこうと、販促のためのプロモーション活動をしました。フラワーバレンタインをＰＲするために、男性に見立てた「くまモン」からＪＡ菊池花卉部会の女性のみなさまへ花束を渡すサプライズ企画も実施。熊本県宣伝部長に一役を担っていただきました。

くまモンからサプライズプレゼント

コラボレーションした飲食店の様子

●九州各県では「飲食店コラボレーション企画」も実施

九州花き卸売市場連合会（会員23市場）では、九州沖縄におけるフラワーバレンタイン企画を盛り上げようと、昨年10月に青年部の研修会を実施。研修会では会員市場が統一した企画を考慮し、飲食店とタイアップしたコラボレーション企画が決定。男女ペアで来店もしくは予約されたお客さまを対象に、一輪花をプレゼントする内容で、1店舗20束、会員市場で最大5店舗を目標としました。また、お客さまにFacebookやTwitter などのＳＮＳに投稿していただくよう お願いをしました。

福岡花市場・北九州花市場では、12の飲食店とコラボレーション。2月14日当日にプレゼントされたお客さまからは「こんなバレンタインは初めて。感動した。友達に教えます」などの声が聞かれ、フラワーバレンタインがさらに広がっていくことが予想されました。

No	媒体社	掲載日時
1	RKBラジオ	2月1日(日)
2	RKBテレビ	1月30日(金)15時~
3	RKBテレビ	2月4日(水)16:10~
4	NHKテレビ	2月5日(木)11:55~
5	FM KITAQ	1月30日(金)14:30
6	天神経済新聞	1月23日(金)~
7	読売新聞	2月11日(水)朝刊
8	西日本新聞北九州都市圏版	2月11日(日)朝刊
9	読売新聞北九州都市圏版	2月11日(日)朝刊
10	毎日新聞北九州都市圏版	2月11日(日)朝刊
11	RKBラジオ	2月2日(月)6:40~
12	FBS福岡放送	2月5日(木)
13	RKB毎日放送	2月5日(木)11:55~
14	RKBラジオ	2月5日(木)11:55~
15	読売新聞	2月6日(金)朝刊
16	天神サイト	1月30日(金)~
17	日本農業新聞	2月8日(日)TOP面
18	福岡タワーHP	2月11日(日)~
19	リバーウォーク北九州	1月19日(月)~
20	ミーナ天神HP	1月19日(月)~

大庭宗一 博多熱風塾

フラワーバレンタイン。メディアなどで多く取り上げていただきました

福岡のテレビ、ラジオ、新聞社など多くのメディアにフラワーバレンタインを取り上げていただきました。また、各企業とのコラボレーションを行うことで、自社媒体（ホームページ等）の掲載、バレンタイン特集企画広告などに掲載していただきました。

第3回リリーアベニューが福岡にて開催！

【開催日時】
2015年2月2日（月）・4日（水）
6日（金）・7日（土）

【開催場所】
福岡花市場場内、天神地下街イベント広場

リリーアベニューとは

日本でのユリの切り花、球根の普及を目指すため設立されたプロモーショングループ「リリープロモーション・ジャパン」が主催するユリのＰＲイベントです。第1回目を大田市場、第2回目を世田谷市場と、ともに東京で開催されたこのイベントの第3回目が福岡にて開催されました。イベント期間中は、「ユリは女性に捧げる感謝の花」をコンセプトに、さまざまな催し物をとおして、ユリの魅力や使い方などを花商の方から生産者、一般消費者までＰＲしました。

リリーエンジェル登場！

ユリの魅力をさまざまな方に伝えるため、日本のユリ生産者の家族のなかから毎年選ばれる12名のリリーエンジェル。今回のイベントには、九州出身のリリーエンジェルの永友理沙さん（宮崎）、柳美津絵さん（福岡）、坂本智菜美さん（佐賀）、荒井亜樹さん（熊本）が応援に駆けつけ、イベントを盛り上げました。

リリーエンジェル

特別講演会

2月6日（金）には特別講演会とパネルディスカッションを実施し、生産者・買参人・市場関係者ら約70名の参加がありました。

第1部の特別講演会では、オランダのユリ球根輸出会社オーニングス社ディレクターのエバート　ファンザンテン氏を講師として招き、「世界の市場動向と日本の生産者および市場のこれから」について講演していただきました。日本の現状との比較を交えながら伝えられるオランダの花き業界の現状と今後の話は大変興味深く、参加者も熱心に耳を傾けていました。

エバート　ファンザンテン氏による特別公演会

第2部のパネルディスカッションでは、エバート　ファンザンテン氏、球根輸入会社（株）カドの角裕二代表取締役、生産者代表として石井秀樹球根部会長、買参人からはなよし生花店の白石雅義氏、当花市場よりユリ担当の小田直行課長補佐がパネリストとして参加し、「ユリの需要に見るこれからのプロモーションと市場の必要性」について、それぞれの立場から意見を述べ合い、討論を行いました。

パネルディスカッション

場内デモンストレーション

2月2日（月）、4日（水）、6日（金）の3日間にわたって、場内ひな壇と仲卸店舗前にてデモンストレーションを実施し、買参人や買出人の方にユリの新しい使い方などを提案しました。

1日目のかねとういさお氏によるデモンストレーションでは、ユリとサンゴミズキを用い、まわりの人に見せながら持って帰ることができる手提げ型の花束などが作成されました。また、ユリの性質やアレンジを作るときに便利なグッズの紹介もしていただきました。

2日目は、当花市場の買参人、飛松誠自氏と小畑勝久氏によるデモンストレーションがありました。使用した花きの産地情報などを話しながら作られた作品は、非常に芸術性の高いものでした。参加者からは、保水の仕方や紙ひも製のボールの作り方をはじめ、熱心な質問がありました。

3日目のレン　オークメイド氏（オランダ／マスターフローリスト）のデモンストレーションは、ホットグルーを使ってハート型の飾りを張り付けたり、パールビーズをワイヤーに通して飾り付けたりするなど、「美しく作るだけでなく、楽しく作る」というオークメイド氏のコンセプトのとおり、見ていて楽しくなる作品でした。

手作りのボールを使った小畑氏によるデモンストレーション

かねとう氏によるデモンストレーション

飛松氏によるデモンストレーション

リリーアレンジメントコンペティション

買参人および買出人の方より、『くらしの中のユリ』をテーマに、ユリを使った作品を募集しました。寄せられた12作品は、リリーアベニュー開催期間中に花市場の特設展示場にて展示。審査員による審査と買参人や生産者の方などの投票の結果、末光匡介氏（すえみつ花店）が見事1位に輝きました。1位から3位の作品は、『月刊フローリスト』誌に掲載されます。

ふくおか花浪漫でＰＲ！

2月7日（土）に天神地下街で開催されたふくおか花浪漫にてユリのＰＲ活動を実施。リリープロモーションの紹介コーナーを設置し、リリーエンジェルによるＰＲ活動を行うなど、一般消費者にユリの魅力を伝えました。

また、ふくおか花浪漫で実施したレン　オークメイド氏によるデモンストレーションは、どんどん観客が集まりました。みな興味深そうにオークメイド氏の手元に見入り、作品が1つ出来上がるごとに大きな拍手が沸き起こるほどの大盛況でした。

コンペティション出品作品の展示

レン　オークメイド氏によるデモンストレーション

仲卸店舗前にオブジェを設置

開催期間中は、場内の仲卸店舗（金子生花店様、菊匠様、花幸様、福岡県花き流通センター様、フレネットＨＩＢＩＹＡ様、三原生花様）にご協力をいただき、各店舗前にユリを使ったオブジェを置き、そのまわりにはユリの販促コーナーを設置。ピンクを基調とした高さ2ｍのオブジェは、来場者の目を集めていました。

ユリの品種展示を実施

荷受室前とひな壇のうしろにて、九州や四国、山口の生産者のご協力をいただき、集められた60品種以上ものユリを展示。いつもは蕾の状態でセリにかけられるユリを、開花した状態で買参人のみなさまに紹介しました。

ひな壇での品種展示の様子